

①日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

②公開特許公報(A)

昭54-113143

⑤Int. Cl.²
B 62 L 3/02

識別記号 ⑤日本分類
81 E 01

庁内整理番号 ④公開 昭和54年(1979)9月4日
6927-3D

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

④ワンハンドブレーキ

⑦発明者 岸他人蔵
坂戸市鶴舞2-25-2

②特 願 昭53-20122

①出 願 人 岸他人蔵
坂戸市鶴舞2-25-2

②出 願 昭53(1978)2月23日

明 細 書

1. 発明の名称 ワンハンドブレーキ

2. 特許請求の範囲

ハンドルに付けた左右のハンドブレーキレバーの一方のハンドブレーキレバーの動作によって動作力が前輪ブレーキ、後輪ブレーキに二方に伝達し、前輪、後輪にブレーキを行なうワンハンドブレーキ。

3. 発明の詳細な説明

従来、自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルの左右に付いているブレーキレバーは、前輪用、後輪用に別れているため、走行中に於いて急停止、停止、徐行を行なう場合は左、右のブレーキレバーの操作が微妙である。左右ブレーキレバーの操作が一方が早い時、あるいはある時は片足でブレーキになり、スリップあるいは転倒をし危険である。この危険を解消する為、本発明を提案する

ものである。

本発明の構成は上部に2箇所、下部に2箇所ワイヤー装入穴のあるアジャスター5の上部穴にブレーキワイヤー4、16の突っ込んだたわみ管1、13を装入し、調整ナット2、14、止めナット3、15で固定し、ブレーキワイヤー4、16の先端に止め穴のある止め金6、17を固定する。アジャスター5の下部穴へブレーキワイヤー9、22の突っ込んだ、たわみ管12、25を装入し、調整ナット11、24、止めナット10、23で固定し、ブレーキワイヤー9、22の先端に止め穴のある止め金8、21を固定しU形ボルト7、強め板19、ナット18、20で固定し、ブレーキワイヤー4を左ハンドブレーキレバー26へ接続し、他方のブレーキワイヤー16を右ハンドブレーキレバー27へ接続する。又下部のブレーキワイヤー9を前輪(後輪でもよい)ブレーキへ接続し、他方のブレーキワイヤー22を後輪(前輪でもよい)ブレーキへ接続し、図面のように構成する。本発明の実施はワンハンドブレーキのブレーキ

ワイヤー 4、16を装着した左右のハンドブレーキレバー 26、27を自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルの適当な箇所へ従来の方法で取り付け固定し、アジャスター 5を適当な箇所へバンド 29で止め、ブレーキワイヤー 22を前輪ブレーキへ、ブレーキワイヤー 9を後輪ブレーキへ従来の方法で止める。

従来の自転車、オートバイ、子供用三輪車のハンドルに付けた左右のハンドブレーキレバーは前輪ブレーキ、後輪ブレーキに別れている為、走行に於いて急停止、停止、徐行を行なうのに左右のハンドブレーキレバーの操作が微妙な操作が必要であった。本発明のワンハンドブレーキは左右いずれか一方のハンドブレーキレバーの操作によって前輪、後輪にブレーキをかけることができ、又微妙なブレーキレバーの操作も必要なく、安全性の高いワンハンドブレーキである。

4. 図面の簡単な説明

オ 1 図面は本発明のアジャスター部の説明図。

特開昭54-113143(2)
オ 2 図面は止め^主の説明図、オ 3 図面は本発明の^主訂正
実施説明図。

1…たわみ管、2…調整ナット、3…止めナット、4…ブレーキワイヤー、5…アジャスター、6…止め^主、7…U形ボルト、8…止め^主、9…^主訂正
ブレーキワイヤー、10…調整ナット、11…止
めナット、12…たわみ管、13…たわみ管、
14…調整ナット、15…止めナット、16…ブ
レーキワイヤー、17…止め^主、18…止めナット、^主訂正
19…強め板、20…止めナット、21…止
め^主、22…ブレーキワイヤー、23…止めナット、^主訂正
24…調整ナット、25…たわみ管、26…
ハンドブレーキレバー、27…ハンドブレーキレ
バー、28…カバー止めビス、29…カバー、
30…止めのバンド、31…止め穴。

特許出願人 岸 他人蔵

